

## 事務事業評価調書

事務事業名	男女共同参画プラン推進事業				
担当部名	市民部	室課名	男女共同参画室	室課長名	杉 公子

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成6年度	改正 内容	吹田市男女共同参画推進条例施行規則一部改正											
(2) 直近の改正	平成19年度													
(3) 根拠法令等	吹田市男女共同参画推進条例/すいた男女共同参画プラン													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	01	すべての人がいきいき輝くまちづくり	節	03	細節	10							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民及び事業者											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	男女が対等な社会の構成員としてあらゆる分野に参画し、その能力や個性を發揮できる男女共同参画社会の実現を図る。												
(7) 事業概要	男女共同参画推進条例に基づき策定した男女共同参画プランの推進を図ると共に、男女共同参画施策の進捗状況を把握し、分析・評価する。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	24	大事業	03	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		1,344	469	1,550	766	817							
	人件費	職員数	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00							
		総額(B)	千円	8,352	8,039	8,170	7,900							
	総事業費(A+B)		9,696	8,508	9,720	8,666	8,869							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0							
		国		0	0	0	0							
		府		0	0	0	0							
	その他		0	0	0	0								
	(内訳)	市負担(D)		9,696	8,508	9,720	8,666							
		地方債		0	0	0	0							
その他		0	0	0	0									
一般財源		9,696	8,508	9,720	8,666	8,869								
財源計(C+D)		9,696	8,508	9,720	8,666	8,869								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

## 2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	男女共同参画審議会の開催回数	目標値	(単位:回)	4.00	4.00	0.00	
			実績値	(単位:回)	2.00	4.00		
			達成度(%)		50.0	100.0		
	目標値の積算方法	平成29年度については男女共同参画プラン策定事業で開催	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		4,254.00	2,234.00	
				一般財源(単位:千円)		4,254.00	2,234.00	
	(2) 成果指標	②		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標		①	「男女がともに個性や能力を発揮できている社会になってきている」と思う市民の割合	目標値	(単位:%)	40.00	40.00	40.00
	実績値			(単位:%)	30.80	30.80		
	達成度(%)			77.0	77.0			
	目標値の積算方法	過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加をめざし設定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		276.23	290.13	
				一般財源(単位:千円)		276.23	290.13	
	②	指標内容	審議会等委員における女性の割合	目標値	(単位:%)	40.00	40.00	40.00
実績値				(単位:%)	32.50	34.50		
達成度(%)		65.0	86.3					
目標値の積算方法		審議会等の運営状況に関する調査(毎年度)をもとに男女同数をめざし設定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		261.78	259.01	
	一般財源(単位:千円)				261.78	259.01		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		男女共同参画社会の形成は短期的に実現できるものではなく、市民や事業者に対し継続的に意識啓発等の事業を重ねていく必要がある。					

## 事務事業分析シート

所属名	男女共同参画室	事業名	男女共同参画プラン推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	00160				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)
②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5			点
③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5			点
④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3			点
(3) 効率性 (20点)	16			①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)
②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5			点
③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5			点
④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5			点
(5) 持続可能性 (20点)	18			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	男女共同参画室	事務事業番号	00160
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>男女が共に性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現には、「すいた男女共同参画プラン」の推進が不可欠であり、その中で男女共同参画審議会を開催するとともに男女共同参画の推進に関する施策の実施状況等について報告書を作成し、効果的な分析・評価ができるよう努めている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	啓発事業				
担当部名	市民部	室課名	男女共同参画室	室課長名	杉 公子

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成6年度	改正内容	吹田市男女共同参画推進条例施行規則一部改正											
(2) 直近の改正	平成19年度													
(3) 根拠法令等	吹田市男女共同参画推進条例/すいた男女共同参画プラン													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	01	すべての人がいきいき輝くまちづくり	節	03	細節	20							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民及び事業者											
	結果(どのような効果が得られるのか)	男女共同参画社会の実現をめざし、市民及び事業者に対して啓発及び情報提供等を行い、男女共同参画社会に向けての意識改革を図る。												
(7) 事業概要	<p>①男女共同参画社会の実現に向けての意識啓発・情報提供のために、啓発冊子等を発行する。</p> <p>②隔年で「女と男のフェスタ」を開催し、男女共同参画社会の実現に向けての啓発を実施。実行委員会形式。</p>													
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	24	大事業	03	中事業	02	小事業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		1,356	1,255	685	333	1,504							
	人件費	職員数	人	0.70	1.00	0.80	0.80	0.80						
		総額(B)	千円	5,847	8,039	6,536	6,320	6,442						
	総事業費(A+B)		7,203	9,294	7,221	6,653	7,946							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		7,203	9,294	7,221	6,653	7,946							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		7,203	9,294	7,221	6,653	7,946								
財源計(C+D)		7,203	9,294	7,221	6,653	7,946								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	女と男のフェスタinすいた実行委員会										
			②											
			③											
	主な委託内容		開催、運営に関する事項											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 女と男のフェスタ参加者数	目標値	(単位:人)	700.00	0.00	400.00	
			実績値	(単位:人)	531.00	0.00		
			達成度(%)		75.9	0.0		
	目標値の積算方法	会場規模(今年度変更)を考慮した。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		17.50	0.00	
				一般財源(単位:千円)		17.50	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容 「男は仕事」「女は家庭」と思わない市民意識の割合(男性)	目標値	(単位:%)	60.00	60.00	60.00	
			実績値	(単位:%)	55.40	55.40		
			達成度(%)		92.3	92.3		
	目標値の積算方法	男女共同参画に関する市民意識・実態調査をもとに今後の増加をめざし設定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		167.76	123.99	
				一般財源(単位:千円)		167.76	123.99	
	②	指標内容 「男は仕事」「女は家庭」と思わない市民意識の割合(女性)	目標値	(単位:%)	70.00	70.00	70.00	
実績値			(単位:%)	61.10	61.10			
達成度(%)			87.3	87.3				
目標値の積算方法	男女共同参画に関する市民意識・実態調査をもとに今後の増加をめざし設定(5年毎に実施)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		152.11	112.42		
			一般財源(単位:千円)		152.11	112.42		
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		男女共同参画社会の実現に向け、市の男女共同参画施策の発信媒体である啓発誌「女と男のいきいきライフ」や冊子「エール」、「DV防止啓発パンフレット」の発行など、様々な啓発事業を続けていく必要がある。また、これまで隔年で開催している「女と男のフェスタ」は啓発事業として、より効果的な手法を検討しながら今後も事業を継続していく必要がある。					

事務事業分析シート

所属名	男女共同参画室	事業名	啓発事業	事業区分	その他
事務事業番号	00161				

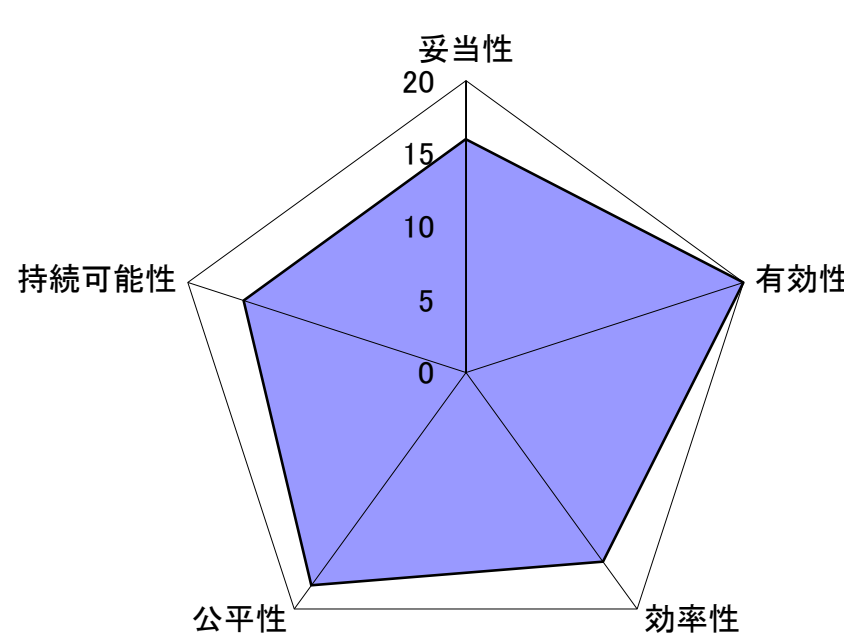
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	男女共同参画室	事務事業番号	00161
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>男女共同参画に向けての意識改革を図るために市民及び事業者に対して啓発活動を行っているが、今後も男女が対等な社会の構成員としてあらゆる分野に参画し、その能力や個性を発揮できる男女共同参画社会の実現のために、課題解決を意識した啓発活動が必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	DV防止対策事業				
担当部名	市民部	室課名	男女共同参画室	室課長名	杉 公子

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成25年度	改正 内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	吹田市男女共同参画推進条例/すいた男女共同参画プラン													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	01	すべての人がいきいき輝くまちづくり	節	03	細節	50							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民及び事業者											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	女性に対する暴力とDVの根絶 DV被害者の保護及び自立支援を促進するとともに、加害者を作らない社会を実現する。												
(7) 事業概要	配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護等のため、「予防」、「発見」、「支援」、「フォロー」の4つの視点から効果的な事業を推進しており、法律に基づく配偶者暴力相談支援センター機能を持つDV相談室での被害者支援や、パンフレットの作成など様々な啓発活動を実施している。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	24	大事業	06	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		870	538	815	583	764							
	人件費	職員数	人	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00						
		総額(B)	千円	16,704	16,078	16,340	15,800	16,104						
	総事業費(A+B)		17,574	16,616	17,155	16,383	16,868							
	特定財源(C)		300	224	300	248	300							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	300	224	300	248	300							
	市負担(D)		17,274	16,392	16,855	16,135	16,568							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		17,274	16,392	16,855	16,135	16,568								
財源計(C+D)		17,574	16,616	17,155	16,383	16,868								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容	配偶者暴力相談支援センターとして、内外の関係機関と連携して被害者に対し相談、支援、身体保護等にあたる。さらに配偶者による暴力防止のための市民に対する意識啓発を行う。			目標	配偶者暴力を防止するとともに、被害者の自立を支援することを含め、その適切な保護を図る。
	②	成果内容	相談者、同伴家族の安全、心身の安定確保、生活再建のための様々な相談、支援を行った。			達成状況	相談者の置かれた状況に応じて適切な相談、支援を行うことにより、暴力被害を抑え、自立した生活再建へ踏み出すことができた。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		配偶者暴力による被害者の保護と継続した自立支援及び予防啓発に取り組むとともに、吹田市DV防止ネットワーク会議の有効的な活用により内外の関係機関の連携の強化を図る。				

## 事務事業分析シート

所属名	男女共同参画室	事業名	DV防止対策事業	事業区分	その他
事務事業番号	00162				

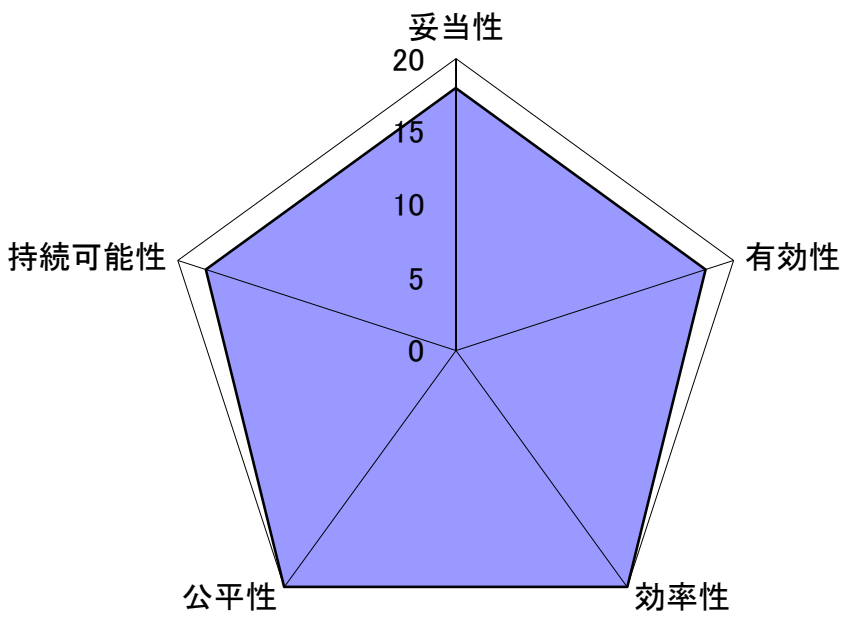
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点	
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点	
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点	
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点	
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点	
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点	
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点	
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点	
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点	
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点	
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点	
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点	
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点	
評価点合計 (100点満点)	<b>94</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))			

所属名	男女共同参画室	事務事業番号	00162
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>DVの相談体制の充実を図るとともに予防啓発に努めている。 また、DVの防止及びDV被害者の保護・支援を総合的かつ円滑に行うために関係機関等のネットワークを構築し、DV防止対策の推進を図ることを目的とした吹田市DV防止ネットワーク会議を設置している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	ダブルリボンプロジェクト基金積立事業				
担当部署	市民部	室課名	男女共同参画室	室課長名	杉 公子

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成25年度	改正内容	なし														
(2) 直近の改正	なし																
(3) 根拠法令等	吹田市男女共同参画推進条例/すいた男女共同参画プラン/吹田市積立基金条例【昭和39年3月31日制定】																
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)														
	一部にチェックした場合はその説明																
(5) 総合計画の体系	章	01	すべての人がいきいき輝くまちづくり	節	03	細節	50										
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	ダブルリボンプロジェクト基金積立														
	結果 (どのような効果が得られるのか)	Wリボンプロジェクトが円滑に行えるよう積み立てる															
(7) 事業概要	Wリボンバッジの売上金の一部及び寄附金等をダブルリボンプロジェクト基金に積み立てる。																
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	32	大	事業	01	中	事業	01	小	事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)										
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)										
	事業費(A)		1,585	2,274	1,585	2,809	1,389										
	人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.20	0.20										
		総額(B)	千円	1,671	1,608	1,634	1,580										
	総事業費(A+B)		3,256	3,882	3,219	4,389	3,000										
	特定財源(C)		1,585	2,118	1,585	1,562	1,389										
	(内訳)	国	0	0	0	0	0										
		府	0	0	0	0	0										
		その他	1,585	2,118	1,585	1,562	1,389										
	市負担(D)		1,671	1,764	1,634	2,827	1,611										
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0										
		その他	0	0	0	0	0										
一般財源		1,671	1,764	1,634	2,827	1,611											
財源計(C+D)		3,256	3,882	3,219	4,389	3,000											
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施																
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①														
			②														
			③														
	主な委託内容																
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①															
		②															
		③															
<input type="checkbox"/> その他	内容																

2 評価の指標等

指標項目		項目	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)		
(1) 活動指標	① 指標内容 Wリボンバッジの販売個数 (基金の会計年度である2月から翌年1月 までの数値)	目標値	(単位:個)	3,000.00	3,000.00	3,000.00	
		実績値	(単位:個)	1,469.00	1,938.00		
		達成度(%)		49.0	64.6		
	目標値 の積算 方法	近年の実績値を踏まえて設定。		単位当 たりコ スト	総事業費(単位:千円)	2.64	2.29
					一般財源(単位:千円)	1.20	1.49
	②	指標内容 ダブルリボンプロジェクト基金指定寄附件 数	目標値	(単位:円)	50.00	60.00	65.00
実績値			(単位:円)	68.00	68.00		
達成度(%)			128.0	108.3			
目標値 の積算 方法		前年度実績を下回らないことを目標として 設定。		単位当 たりコ スト	総事業費(単位:千円)	60.66	68.35
					一般財源(単位:千円)	27.56	44.32
(2) 成果指標		① 指標内容 Wリボンバッジの販売収益の積立額 (基金の会計年度である2月から翌年1月 までの数値)	目標値	(単位:円)	582,000.00	582,000.00	388,000.00
	実績値		(単位:円)	284,986.00	345,972.00		
	達成度(%)		49.0	59.4			
	目標値 の積算 方法	バッジ販売個数の目標値に基づき設定。		単位当 たりコ スト	総事業費(単位:千円)	0.01	0.01
					一般財源(単位:千円)	0.01	0.01
	②	指標内容 ダブルリボンプロジェクト基金指定寄附金 額	目標値	(単位:円)	1,000,000.00	1,000,000.00	1,000,000.00
実績値			(単位:円)	1,985,629.00	1,547,034.00		
達成度(%)			198.6	154.7			
目標値 の積算 方法		指定寄付金については時々の経済状況等 による増減が大きいことから、一定の金額 を下回らないことを目標として設定。		単位当 たりコ スト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(3) が 困難な 場合	① 活動 内容				目標		
	② 成果 内容				達成 状況		
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明	DVや児童虐待など暴力をなくすために実施している「Wリボンプロジェクト」を地域や企業と連携して、さらに発展させ、「暴力のない安心安全なまち、すいた」の実現のための財源として設置した。Wリボンバッジの売上金の一部のほか、企業や市民からの協賛による寄附金なども積み立てており、今後とも全国に向けてWリボンマークを周知していく。					

## 事務事業分析シート

所属名	男女共同参画室	事業名	ダブルリボンプロジェクト基金積立事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00163				

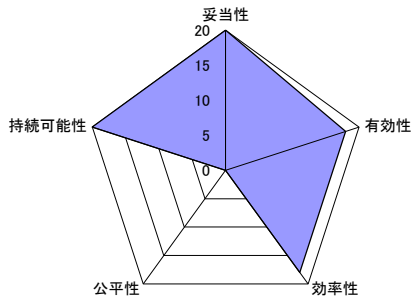
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	95	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	男女共同参画室	事務事業番号	00163
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>DVや児童虐待などあらゆる暴力の根絶を目指し「Wリボンプロジェクト」を実施しており、今後も地域や企業と連携し、「暴力のない安心安全なまち、すいた」の実現に向けてこの事業を発展させ、その財源確保のためダブルリボンプロジェクト基金を設置している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	男女共同参画プラン策定事業				
担当部名	市民部	室課名	男女共同参画室	室課長名	杉 公子

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成6年度	改正 内容	吹田市男女共同参画推進条例施行規則一部改正											
(2) 直近の改正	平成19年度													
(3) 根拠法令等	吹田市男女共同参画推進条例/すいた男女共同参画プラン													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	01	すべての人がいきいき輝くまちづくり	節	03	細節	10							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民及び事業者											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	男女共同参画推進条例に基づく男女共同参画プランの次期プランを策定し、男女共同参画社会の実現をめざし、男女共同参画の推進を図る。												
(7) 事業概要	男女共同参画推進条例に基づく具体的な行動計画である「すいた男女共同参画プラン」(次期計画)策定する事業である。5年の計画期間のうち3年目に市民意識調査、4年目に庁内ヒアリング、5年目に実際の計画立案の作業を行う。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	24	大事業	03	中事業	01	小事業	02
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		1,718	1,609	522	382	2,015							
	人件費	職員数	人	0.10	0.80	1.00	1.00	1.00						
		総額(B)	千円	836	6,432	8,170	7,900	8,052						
	総事業費(A+B)		2,554	8,041	8,692	8,282	10,067							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		2,554	8,041	8,692	8,282	10,067							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		2,554	8,041	8,692	8,282	10,067								
財源計(C+D)		2,554	8,041	8,692	8,282	10,067								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 男女共同参画審議会の開催回数	目標値	(単位:回)	0.00	4.00	8.00	
			実績値	(単位:回)	0.00	4.00		
			達成度(%)		0.0	100.0		
	目標値の積算方法	平成29年度については第4次男女共同参画プラン策定年であることを踏まえ設定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	2,138.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	2,138.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
		達成度(%)		0.0	0.0			
①	活動内容	第4次男女共同参画プラン策定に当たり、男女共同参画審議会上に3部会を設置する。			目標	次期プラン策定の基本方向骨子素案を検討する。		
	成果内容	各部会で、基本方向を定めるための審議を行った。			達成状況	各部会で、基本方向の骨子素案をまとめた。		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		現在、平成25年3月に策定した「第3次すいた男女共同参画プラン」のもと各種事業に取り組んでいる。同プランは計画期間は5年となっており、平成30年度からの第4次プランの策定にむけ、平成28年度については庁内各担当から、取組の進捗状況等についてのヒアリングを行ったところである。					

## 事務事業分析シート

所属名	男女共同参画室	事業名	男女共同参画プラン策定事業	事業区分	その他
事務事業番号	01403				

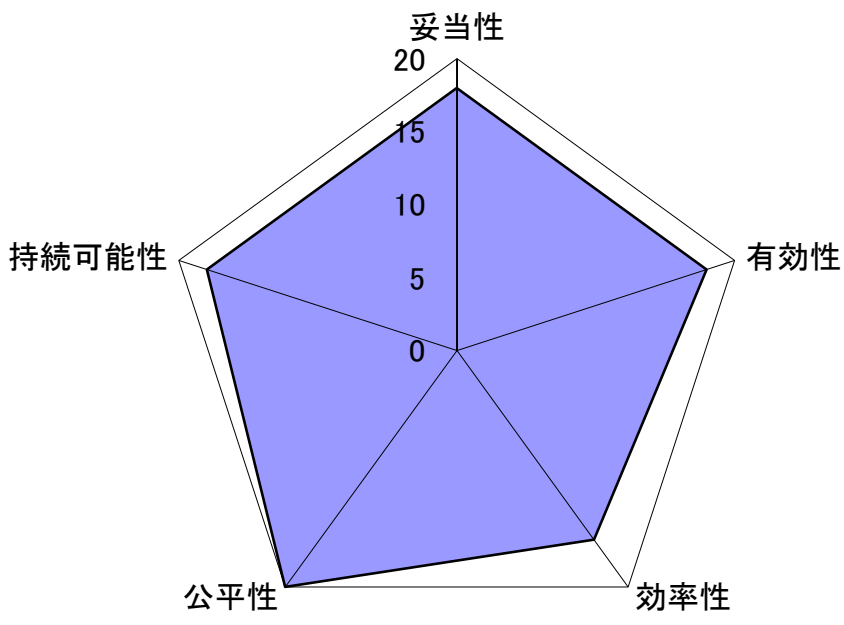
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点		
評価点合計 (100点満点)	<b>90</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	男女共同参画室	事務事業番号	01403
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>現在、平成25年3月に策定した「第3次すいた男女共同参画プラン」のもと各事業に取り組んでいる。当事業は5年ごとの改訂であり、次期プラン策定に向け平成27年度に市民意識・実態調査を実施し、平成28年度に男女共同参画審議会に部会を設置して基本方向の骨子素案をまとめた。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)